

平成 25 年第 10 回教育委員会定例会会議録

- 1 開会宣言 平成 25 年 9 月 20 日（金） 午後 1 時 30 分
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎 201 会議室
- 3 出席者 長沼委員長、坂爪委員長職務代理委員、渡辺委員、須佐委員、長谷川教育長
- 4 説明のための出席者
池浦教育部長、大平教育総務課長、久住子育て支援課長、高橋小中一貫教育推進課長、前澤教育センター長、田村食育推進室長、丸山教育総務課長補佐、大谷教育総務課庶務係長
- 5 傍聴人 3 人
- 6 議 題
 - (1) 会議録の承認
平成 25 年第 9 回教育委員会定例会会議録
 - (2) 報 告
報第 1 号 嵐南小学校校章デザインの補作について
 - (3) その他
 - ア 三条市議会 9 月定例会の概要について
 - イ 食物アレルギー対応給食の全市導入について
 - ウ 平成 25 年度教育委員先進地視察について
 - エ 小中一貫教育実施状況について（概要報告）
 - オ 平成 25 年度全国学力・学習状況調査の結果について
 - カ 次回教育委員会定例会の日程について
- 7 審議の経過及び結果
 - (1) 会議録の承認
長沼委員長から平成 25 年第 9 回教育委員会定例会会議録について諮り、承認と決定
 - (2) 報 告
報第 1 号 嵐南小学校校章デザインの補作について
大平教育総務課長が説明
質疑に入るが質疑なく、全員異議なく承認と決定
 - (3) その他
 - ア 三条市議会 9 月定例会の概要について
池浦教育部長が説明
質疑に入るが質疑なく、質疑終結

イ 食物アレルギー対応給食の全市導入について

田村食育推進室長が説明

(長沼委員長)

ただ今の説明に何かご質問、ご意見はいかがでしょうか。

アレルギー全部に対応できるのでしょうか。

(田村食育推進室長)

食物アレルギーで一番多いのは卵です。牛乳や魚類もあります。意外と多いのが果物類です。そんな中でなるべく全てに対応したいとは思いますが、できる範囲でということになるかと思います。保護者の方とよく相談した中で対応するということをマニュアルの中に示してあります。

(長沼委員長)

このお弁当を持ってこられるお子さんというのは、ほぼ全てが引っかけってしまうというような方でしょうか。

(田村食育推進室長)

そうです。その方はアレルギー原因食材の数が多い方です。

(渡辺委員)

この対象児童生徒の調査というのは、どういうふうになされていくのでしょうか。

(田村食育推進室長)

この資料にある数字の根拠ですか。

(渡辺委員)

はい。

(田村食育推進室長)

これは今年8月に各学校に調査させていただきました。

(渡辺委員)

この後、どういうふうな調査が行われていくのですか。

(田村食育推進室長)

この後は個人に対して食物アレルギーの有無について調査いたします。その結果を受け、アレルギー対応給食を希望する方にはもっと詳細に調べていきます。そして医師の意見書に基づいて面談を行い、調理する側と、保護者の了解を得ながら進めていくという段取りです。

(渡辺委員)

もちろん新入生は入ってきた時点ですか。

(田村食育推進室長)

そうですね。例えば4月から始めるのであれば、1月か2月のうちに調査を行うことで、

対応することができます。新入生は就学前検診のところで調査用紙をお渡しして調査を進めるということになります。

(渡辺委員)

追加ですが、今まで何もなかった子どもたちが、突然アレルギーが出てくる場合も考えられますよね。

(田村食育推進室長)

はい。普通であれば何ともないと思って食べるわけですが、急にアレルギー症状が出た場合、どんな症状が出たらどう対応するのかということ緊急時対応マニュアルに示してあります。エピペンを持っているお子さんはもちろん、アレルギーでないお子さんについてもそういう観点で見守ることができるマニュアルになっています。症状別の対応、救急車を呼ぶタイミング等も盛り込んだマニュアルです。

(須佐委員)

今の渡辺委員さんの話と逆で、在校中に治るということはないのでしょうか。

(田村食育推進室長)

それはあります。アレルギー対応給食の希望があった方が、「食物アレルギーはもう治ったよ」ということになり、お医者さんの判断をいただき、保護者から「給食でのアレルギー対応をやめて普通の給食に戻してください」ということを、どの時点でも言えるような仕組みになっています。

(長沼委員長)

どこかの学校を見せていただいたときに給食が出ていて、アレルギー対応給食があったのですが、びっくりするくらい粗末な、何か取ったっていう感じなんですね。だからそんなことにはならないでしょうね。

(田村食育推進室長)

そのために専用施設を造っていただきますので、より良い対応ができると考えています。ご覧になった給食は、本来十ある食材の中から、アレルギー原因食材を一つ、二つと除いたものだと思います。

(長沼委員長)

そうそう、引いただけなんです。

(田村食育推進室長)

アレルギー原因食材が一つ程度で大した影響のないものであれば、除去しただけの給食になる可能性はあります。しかし、例えば卵スープの卵がだめな場合は、卵に代えてベーコンを入れることで栄養的にも充足したものを提供するという、代替給食を提供していく予定です。栄養価を考えそれを維持していくことになります。

(長沼委員長)

ほかにございますか。

(坂爪委員)

こういうことが現場に出ると、私も昔そういうことがあったのですが、やっぱり対象っていうか、からかわれの対象に出てくるんですね。そこら辺りも本当に気を配りながらやっていかないと、その子にとっては本当に大事な、大変なことなだけけれども、周りの子にとっては何でも食べられるってというような状況であったので、まあ、ちょっと何かあるとアレルギーというのを言われたりしていたので。これだけ大勢の子どもたちがいるとなると大変だなって、現場の人たちも、先生方は大変だなって感じは受けます。

(長沼委員長)

どうぞよろしく申し上げます。ほかによろしいでしょうか。では承りました。

ウ 平成 25 年度教育委員先進地視察について

大平教育総務課長が説明

質疑に入るが質疑なく、質疑終結

エ 小中一貫教育実施状況について（概要報告）

前澤教育センター長が説明

質疑に入るが質疑なく、質疑終結

オ 平成 25 年度全国学力・学習状況調査の結果について

高橋小中一貫教育推進課長が説明

質疑に入るが質疑なく、質疑終結

エ 次回教育委員会定例会の日程について

大平教育総務課長から提案があり、委員長が諮り次のとおり決定する。

〔日時〕平成 25 年 10 月 30 日（水）午後 3 時 30 分

〔会場〕三条市役所栄庁舎 201 会議室

8 閉会宣言 午後 2 時

三条市教育委員会会議規則第 38 条及び第 39 条の規定により、会議の顛末を記載してここに署名する。

三条市教育委員会

委員長 長沼 礼子